

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8 23 25 26 36 37 38	担当職員として入居者との信頼関係は結ばれてきたが、その分馴れ合いが生じていないか認知症ケアの見直しが必要な時期に来ている。また新しく入所された方や職員の入れ替わりもあり、ケアの基本である『自立支援』について周知し実践していくためには、ケアプランを理解するとともにチームケアを高めていく必要がある。	入居者の権利擁護やケアマネジメントについて全職員が学びを深め、入居者個々が本人らしく自立した生活ができるようケアプランに反映させるとともに、職員は認知症ケアの専門職としての自覚を持ち、質のいいチームケアを実践することができる。	①認知症ケア及び自立支援について、新しくGHIに配属された職員を中心にアセスメントやモニタリングを通して学ぶ機会を設け、実践につなげていく。 ②チームケアは、ケアプランで成り立っていることを全職員が理解できるよう、職員は積極的に担当者会議に出席し、ご家族や入居者ご本人の意向を確認するとともにチームに還元する。	12ヶ月
2	30 31 33 34	入居者の重度化により今年度看取りが行われた。今後もご家族やご本人の意向があれば看取りは行っていく方針である。入居者ご本人やご家族の不安軽減と、支援する職員も安心した看取りが実践できるよう、医療機関との密接な連携を図るとともにさらなる体制づくりが必要である。	看取り期において、ご本人の生きる力を最大限に引き出し、尊厳を持って最期を迎えられるよう支援していく。そのために、関係する医療機関と密接な連携を図り、支援する職員の心の葛藤に寄り添い、チームでサポートする。とともに体験からの学びを大切にする。	①入居者ご本人やご家族が、最期のひと時を安心して安全に過ごしていただく為に、意思確認(意向)を聴取し記録に残して、情報の共有化を図る。 ②医療機関と相談しやすい良好な関係を築く。 ③家族への支援と共に、職員のグリーフケアを実践する。	12ヶ月
3	2 3 4	認知症カフェ(ルルドカフェ)に西区エリアのご家族や認知症を有するご本人の参加も見られるようになり、地域住民のボランティアも少人数ながら活動されているが、4～10名程度の参加人数なので、ルルドカフェが地域の拠り所として認知され活用されるまでには至っていないと考えられる。	地域密着型サービス事業所としての役割を、ルルドカフェを通じて職員個々が認識し、地域住民の方々と連携協力しながら情報発信していく。また、地域住民の方々の拠り所となれるよう尽力する。	①地域に向けて事業所として情報発信を積極的に行い、ボランティアの育成・活用に努める。 ②ルルドカフェ(認知症カフェ)の活動に職員が主体的に参加し、地域住民の方々と意見交換を行い、地域ニーズを把握する。	12ヶ月
4	9 10	入居者の生活状況を、定期的にご家族にお便りとして送付したり、来所時に担当者による情報交換等でコミュニケーションを図ったりしているが、アンケート調査で無回答の方が1名おられた。また、来所の回数が減っているご家族もあり、想いや願い、要望等をこれまで以上に聴く機会を設ける必要がある。	ご家族との交流が疎遠にならないように、事業所側から積極的に働きかけていくとともに、家族会や各種行事等を通して当グループホームのケアの在り方や家族からの要望等について意見交換を行い、より良いケアへと結び付けていく。	①担当者会議においてご家族の想いや願いが話せるような環境づくりを行い、ゆとりを持って丁寧な対応ができる。 ②家族会や行事等へ参加しやすいようにご家族の意見も確認しながら日程の調整を行う。 ③入居者個々の日常生活状況を写真に収め、アルバムとしてご家族に渡せるよう準備する。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。